



ふれあいコンサート

2月20日(月)ふれあいコンサートが開催されました。今年はレガートマンドリンアンサンブルによる演奏も加わり、とても感動しました。特に、冬の演歌メドレーは心にしみ自然と涙が出てしまいました。

ふれあいのメンバーの手話歌・CHFKの演奏、そして家族会によるハンドベル、どれもすばらしかったと思います。

私もハンドベルのメンバーですが、皆様に素敵な音色をお聞かせできるよう頑張りたいと思います。

心なごむ ひとときでした。

ありがとうございました。

H・O

定例会 (三和地区)

2月15日(水)親が元気なうちにできること～地域で受けられるサポートと題して、参加者17名で青嵐荘つくし園相談支援事業所の石田さんをお招きして開催されました。地域で受けられるサポートは、訪問看護ケア・在宅支援・外出支援・訓練支援・住居支援・グループホーム支援などがあるそうです。グループホームには、いろんなかたちがあるので、自分に合った所を選んで体験をしたうえで決めた方がよいとのことでした。その他、いろいろなケースの方々のお話や石田さん自身のお仕事の話聞く事もでき、大変参考になりました。

石田さんありがとうございました。

T・K

ブロック研修会・リーダー研修会

2月8日(水) 地域において、「精神障害者・家族が望む相談支援」アイネットの上久保美幸さんのお話を聞きました。「アイネット」は、就労支援・ひきこもり・生活困窮者・精神障害・発達障害・緊急支援・フリースクール事業・などなど相談事業所として幅広く活動しているサポートステーションです。古河にも「いまココ」があるそうです。ご自身もヤングケアラーだった経験があり、36才の時発達障害である事がわかってから今に至ったそうです。最後に、参加した人2人組で相手のいい所を3つ言い合いました。ほめるってけっこう難しいですね。後で、自分の家族でやってみましたが、悪い所はすぐ言えるのに良い所はたった3つもすらすら出てきませんでした。これも練習が必要なようです。そしてもうひとつ、「～～でわたしはえらい！」と言ってみよう！という事でそれぞれちょっとした事でもいいとの事、これはけっこう気分がアップしました。わたしは、「今日は早起きできて、私はえらい！」です。えらい！は力強く言いましょう。みなさんもやってみてください

2月14日(火)鳥取県が2009年に創設した「あいサポート運動」と取手市が2021年に協定を結んだお話を聞きました。この運動は全国に広がりつつあるそうで、9県16市6町が参加しています。特別な技術などを習得して支援するのではなく、日常生活の中で障害のある方が困っているときなどに、「ちょっとした手助け」を行う意欲のある方なら、誰でもなることができ、自分のできる範囲で活動するそうです。「あいサポーター」がふえれば、障害がある人もない人も一緒に幸せな生活が送れることでしょ。

すばらしい！ぜひ古河も！ですね。

K・A

オオイヌノフグリ



少しずつ暖かくなり庭の草も気になりはじめました。草とりをはじめると、そこには水色の小さな花、オオイヌノフグリが咲いていました。私はこの花が大好き、どの花よりもかわいくて好きです。

この花に出会ったのは遠いとおい昔、小学校に入学して間もない下校の時です。広く一面に咲きほこったこの花を見つけたのです。なんてきれいなんだろうと感激しました。それからずーっとたって大人になって、この草の名前を知りました。いまでも春になり、この花を見つけては、小学1年の時の光景を思い出すのです。

来年もそして再来年も・・・

M・O

